

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 永山玲美
所属 (School) 現代システム科学域
環境システム学類
学年 (Grade) 2 回生
留学先 (Name of overseas institution)
マラヤ大学
留学期間 (study abroad period)
2020/2/16~2020/3/8

留学レポート Study Abroad Report

☆このプログラムに参加したきっかけ

私がこのプログラムに参加した理由は、ずっと大学生になったら留学したいと思っていたものの、中々思いうまく時間が取れず、一步を踏み出せないまま、気が付けば2回生になっていて、このままでは大学生が終わってしまう、と本気で思い、とにかく一步踏み出してみよう！という気持ちで先輩の紹介を受けて i-wing に相談しに行き、この SEP に参加することを決めました。私自身、英語が好きで、留学をするなら語学研修、という考えが大きかったのですが、初めての留学でいきなり長期間の留学を選ぶことはハードすぎると思いましたし、それにこのプログラムには、バディ制度というとても心強い支えになる制度があるということ、また英語学習だけでなく文化交流もたくさん行えるということに魅力を感じたのも、参加した理由です。そして、結論から言うと、私が期待していたものを遥かに上回る充実した3週間を送ることができました。これからその内容について話します。正直、書きたいことはたくさんあるのですが、厳選して書きたいと思います。

☆マラヤ大学について

マラヤ大学はアジアでもトップクラスの大学で、毎年世界の大学ランキングの順位を上げてきている大学です。敷地面積も本当に広くて、バスから大学を眺めていても、どこからどこまでが大学かわからないほど広いです。マラヤ大学の学生も話していると、頭が良いことがすぐにわかります。プログラム中のオール英語の授業でも日本人の生徒があまり分かっていなさそうな顔をしていたらいつも助けてくれました。そのお陰で授業がスムーズに進みました。また敷地内にはタピオカ（現地ではボバ boba と言います）を売っているところもあり、お昼休みの時間に友達と買いに行ったりもしました。



☆授業について

初日にクラス分けテストが実施され、それに基づいて3つのクラスに分けられます。他のクラスのことは分かりませんが、友達から話を聞いている限りそれほどクラスによって内容に差があるようには感じませんでした。アクティビティや授業内容はほぼ同じです。一番の差は、やはりクラスの雰囲気です。平日の毎日と同じメンバーでずっと授業を受けるので、みんなでクラスを盛り上げることができればどのクラスでも本当に楽しいと思います。先生方も最初の授業でみんなの名前を覚えられるようなゲームなどをしてくれるのでクラスのみならず仲良くなれます。授業は、Grammar、Writing、Reading、Speaking、Malaysian Studies の4つがあり、どの授業もすごくためになりました。初めはすべて英語の授業なので話を理解することに必死だったのですが、徐々に慣れて最後の週の授業では話を聞きながら書いたり、すんなりと理解も進み、ちゃんとした授業を受けている感覚がありました。また、絶対に日本の英語の授業では教えてくれなかったり、絶対に存在しない自由な雰囲気、の教室や先生方の雰囲気に良い意味で軽いカルチャーショックを受けました。今まで一科目として捉えていた英語に改めて世界共通の言語であることを実感しました。

☆☆宿舎 (IH) での生活

私たちは、International House (IH) という学生寮に、ローカルバディ1人と日本の留学生3人の4人で一つの部屋を使いました。出発前にそんなにきれいな部屋ではないと聞いていたのですが、シャワーの水圧が小さいなど、多少のトラブルは発生したものの、みんなで工夫して洗濯物を干す場所をDIYしたり、3週間も過ごしていると、我が家のような愛着が湧いてきて、とても快適に過ごすことができました。私のバディは仲良し4人組のバディで、そのうちの一人のバディの部屋に行ってみみんなで Glub という食べ物を配達してくれるシステム

